



塩谷定好(静物)1929年 島根県立美術館蔵

生誕120年記念

# 塩谷定好展

Teiko Shiotani

8月23日[金]

11月18日[月]

島根県立美術館  
展示室4・5

【開館時間】

3月～9月 10:00～日没後30分

10月～2月 10:00～18:30

(展示室への入場は閉館時刻の30分前まで)

【休館日】

火曜日(ただし10月22日は開館)

観覧料

一般: 300(240)円

大学生: 200(160)円

高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金。

※企画展と同日に観覧の場合は半額になります。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添の方は観覧無料。



島根県立美術館

# 生誕120年記念 塩谷 定好展

Teiko Shiotani

2019年8月23日[金] ▶ 11月18日[月]  
会場: 島根県立美術館 展示室4・5

大正末から昭和初期に一世を風靡した絵画のような写真、「芸術写真」。写真家・塩谷定好(1899-1988)は、その代表的な写真家として知られています。しかし、はたしてそれだけなのでしょうか?

1982年、塩谷はドイツのケルンでフォトキナ栄誉賞を受賞し、国際的な評価を受けました。芸術写真という枠を超えて、時代を超えて、塩谷の写真は普遍的な魅力を放っています。

「自然の命を自分に通し、自分の命を自然に通す」という塩谷の言葉通り、まるで写真印画そのものに命が宿っているかのようです。

生誕120年を記念するこの展覧会では、島根県立美術館・塩谷定好コレクションのなかから約200点で、塩谷の写真の本質を探ります。



## 1. 村の情景



1.《村の鳥瞰》1925年  
2.《思い出の落日》1933年

## 2. 子供の情景



3.《籠などを取り入れたる少女座像》1930年



4.《手鑿を持てる小坊主》1929年



## 3. 海の情景

5.《海岸小景》1925年  
6.《天気予報のある風景》1931年

## 4. 花の情景



7.《朝顔》1932年

1.~7. 島根県立美術館蔵

### ■記念出版

生誕120年 塩谷定好(仮称)

求龍堂



(表紙案)

塩谷定好(1899-1988)の生誕120年を記念して、国内に所蔵されている塩谷作品のなかから選りすぐりの写真群によって、塩谷定好の世界を堪能できる愛蔵版『生誕120年 塩谷定好(仮称)』を求龍堂より出版いたします。

上製本、250頁/2019年9月下旬発行

### ◎ギャラリートーク

講師: 薦谷典子(当館首席学芸員)  
日時: 2019年10月6日(日)、11月3日(日・祝)  
14:00から約45分  
会場: 展示室4・5  
※要コレクション展観覧料

 島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5  
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714  
<https://www.shimane-art-museum.jp>